

平成25年度 小中学校の授業等で活用できる「親学習」研修



更新日：2013年9月6日

平成25年度 小中学校の授業等で活用できる「親学習」研修を開催しました。



平成25年7月29日（月曜日）午後、大阪府新別館北館多目的ホールにて、教職員対象の親学習研修を開催しました。

教職員が実際に親学習を体験しながら、その手法などについて学びます。府の養成講座を受講し、各地で親学習を実践している「親学習リーダー」が講師となり、親学習ワークショップのファシリテーターや、実際に学校で児童生徒に対して親学習をした事例の報告を行いました。

当日は、定員を超える53名が参加し親学習について学びました。

1.実施日時

平成25年7月29日（金曜日） 14時から17時

2.実施場所

大阪府新別館北館 多目的ホール

3.対象

府内市町村立小・中・特別支援学校教職員
市町村教育委員会学校教育担当職員、家庭教育担当職員
府内私立小・中学校教職員
府立学校教職員（東大阪市立高校、岸和田市立高校を含む）

参加者数 53名

4.内容




1. 講義 「親学習について」
2. 実践報告 「小・中学校における親学習の実践」
3. ワークショップ 「教材を活用した授業展開について」他

（実践報告・ファシリテーター）

親学習リーダー 5名（守口市、松原市、河内長野市、寝屋川市より）

5.交流会の様子



| 教職員、行政関係者 53名が参加 | 親学習リーダーのみなさん | 学校の授業で行った親学習の 実践報告 |
|---|---|---|
|  |  |  |
| 親学習を行う上で必要な 4つの約束を説明 | 卵を子どもに見立てる 「たまごのワーク」 | 意見を交流することで 気づきを生む学習 |

6.アンケートより

- ・「子どもが親のことを考えること」（たまごのワーク）が、子どもの心の成長にすごく有効だと感じました。
- ・それぞれの立場状況に応じて親について考えることがより良い親子の関係を築き、他者への配慮ができると思いました。
- ・子どもだけでなく、PTAや教職員としてみたらいいなと思いました。
- ・親の立場で考えることが、自分の周りの人たちに支えてもらっていることに気づくという、とてもいい取組みだと思います。
- ・たまごのワークショップで自分で気づいていない自分に気づけました。
- ・「親」「子」「先生」の思いや立場がそれぞれわかると感じました。
- ・いのちの学習に似ていると思いました。子は親にとっても大切に育てられてきました。それぞれの親の考え方を分かち合うことで、よりよい子育てができるようになると思いました。
- ・子どもに「親」になること、将来を考えることは重要だと思っていたので、とてもためになりました。
- ・卵をあたためる活動「接する」が、実践するとおもしろいワークショップだと感じました。
- ・職場（小・中・高）の違いで親についての考え方の相違があるのかと思っていましたが、ほとんど一緒であることに気づかされました。
- ・とても必要で、全学校で定期的に関催してほしいと思いました。
- ・「親学習」と聞いて、子ども対象なのか親対象なのか、何を学ぶのか分からなかったが、今日参加させてもらって具体的な内容が分かりました。
- ・「親学習」という名前はよく聞くことがあり、資料などを見ることはあっても、イメージが全くわからなかったため、実際に話を聞き、体験できてとてもためになりました。
- ・地域に親学習リーダーがおられて活動しているのが分かり、いいことだなあと感じました。本校でもできたらいいなと考えています。

このページの作成所属
[教育庁](#) [市町村教育室](#) [地域教育振興課](#) [地域連携グループ](#)



[1つ前のページに戻る](#)

[このページの先頭へ](#)

[ホーム](#) > [教育・学校・青少年](#) > [社会教育・教育コミュニティ・生涯学習](#) > [家庭教育支援](#) > 平成25年度 小中学校の授業等で活用できる「親学習」研修

[お問い合わせ](#) [ユニバーサルデザインについて](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [このサイトのご利用について](#)

大阪府
 (法人番号
 4000020270008)

本庁 〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目

(代表電話) 06-6941-0351

咲洲庁舎 〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16

(代表電話) 06-6941-0351

[大阪府庁への行き方](#)